

## 佐倉の秋祭り

### 三ツ橋よしみ

10月12, 13, 14日は佐倉の秋祭りでした。  
佐倉に引っ越してきてはじめてのお祭りです。さあ行ってみましょう。



江戸時代に、佐倉城大手門の近くにあった麻賀田(まかた)神社が、佐倉藩の総鎮守になりました。

佐倉の秋祭りは、佐倉藩の加護のもと発展しました。麻賀田神社の現在の社殿は、天保14年に藩主堀田正睦公が重建したものです。江戸幕府の老中在任中の内憂外患に立ち向かうにあたり、一念発願されたそうです。

訪れた10月13日はお祭りの中日でした。3時に麻賀田神社から町内のおみこしが出発です。

出陣式に、世話役さんからひとこと注意がありました。

「みなさん、けがのないように気をつけて下さい。  
飲み物は豊富にあります。くれぐれも飲み過ぎないように。」

けんかはしないようにしてください。

もし、お客さんになぐられるようなことがあっても、

ぜったいなぐりかえさないでください」



23の山車や御神酒所、おみこしが佐倉市の麻賀田神社から新町通り周辺を練り歩きます。

写真は野狐台町(やっこだいまち)の御神酒所(曳きまわし屋台のこと)です。

唐波風屋根に人がのって踊ります。

おはやしは軽妙な佐倉囃子です。



御神酒所が新町通りの狭い角を曲がる  
ところ  
です。  
御神酒所の台車に棒をさしこみ、ゆっ  
くりゆっくり曲がっていきます。



写真は麻賀田神社の大神輿  
です。

江戸時代中期、享保6年に江戸  
から職人をよび、8か月の月日と、  
約360両という大金をかけてつく  
られた、千葉県内最大級、台輪巾  
5尺の豪華なおみこしです。

祭りの初日に、麻賀田神社から  
渡御（とぎよ）され、新町通り中  
央の御旅所に、はこばれます。

大神輿は祭りの3日目に、麻賀  
田神社にもどされます。



写真は肴町の山車人形「竹生島龍神」です。

明治に入り、佐倉の商人たちは祭りを盛り上げようと、山車人形を購入しました。現在は佐倉市指定文化財になっています。

この「竹生島龍神」のほかに、横町の「石橋」、仲町の「関羽雲長」、弥勒町の「八幡太郎義家」、上町の「日本武尊」、二番町の「玉ノ井龍神」が現存します。祭りの期間中、おはやし会館、町内の詰所でみられます。



御神酒所（山車）の前方で、佐倉囃子にあわせて、女性たちが踊ります。

「えっさのこらさのえっささ」  
佐倉独特の掛け声が雰囲気盛り上げます。



夜店が並んでにぎやかです。

女の子は  
色のきれいなものが好き。  
「カラーボールすくい」が  
人気を集めていました。



「金魚すくい」は男の子たちで一杯です。  
たくさんすくえたかな。



通りを  
沢山の山車が行き交いま  
す。  
祭りは夜の10時  
まで続きます。

見どころ満載の佐倉祭りです。今年は、大神輿の渡御（とぎょ）を見られませんでした。  
来年のお祭りが、今から楽しみです。